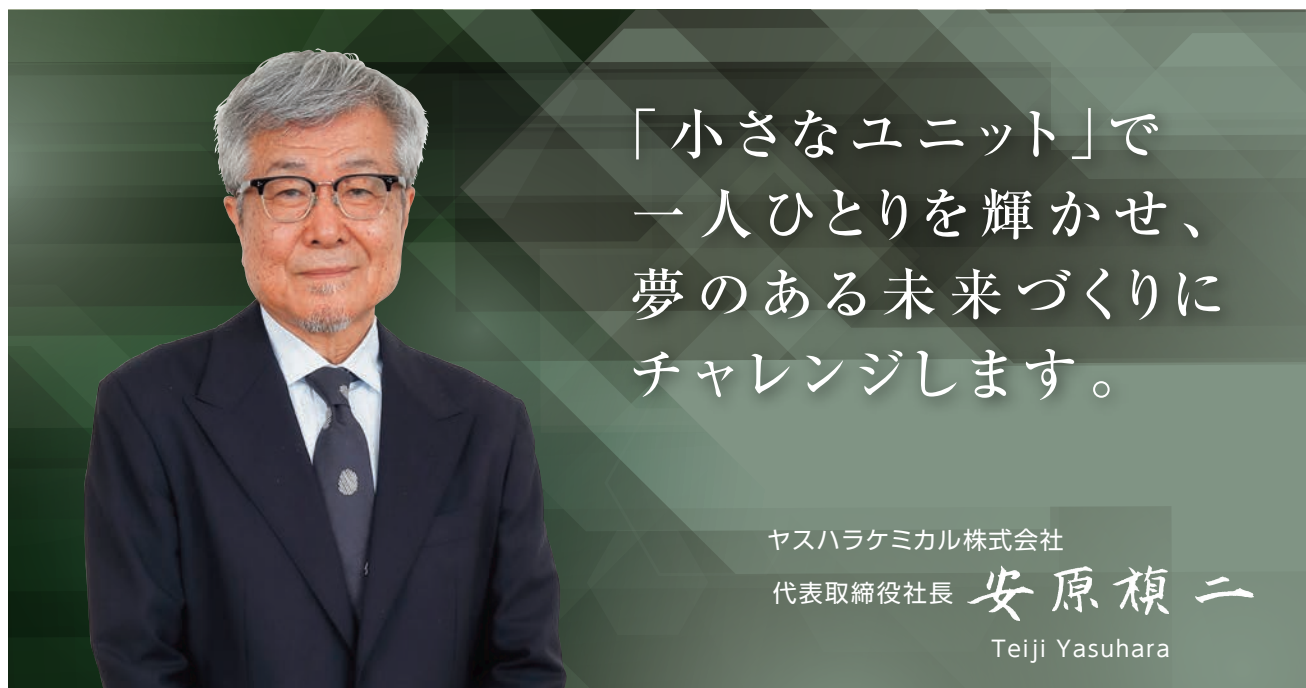




---

## 将来起こりえる大きな変化に 対応するために、 準備や心構えが大切です。

---

アメリカでドナルド・トランプが2度目の大統領となり、世界経済はますます先が見通しにくい状況になっています。関税や安全保障の影響が顕在化するのには3ヶ月から半年先になることから、国内の企業経営者は、今は様子をうかがいながら対応策を考えているところだと思います。

しかしトランプ政権の本当の怖さは、既得権益を打破するというかけ声の下に、これまで積み上げてきた民主主義によるシステムを一旦「ゼロ」にして、自分たちの仲間だけが都合の良い新システムに替えていこうとしているところだと思います。それにより、アメリカと西側諸国との間に溝が生まれ始めています。

この溝は、日本の皆さんが思っているより深刻で、

すぐに変化を及ぼすものではありませんが、5～6年の時間をかけて、かなり大きな変化を起こす可能性があります。私は、将来起こる大きな変化に柔軟に対応していく最適解は、「小さなユニット」にあると考えています。

---

## 大きな変化に対応するための 最適解は、「小さなユニット」だと 思います。

---

「小さなユニット」とは、信頼できる仲間と共に助け合って、ひとつの目標に向かって皆で助け合い、知恵を出し合い、話をして成果を得るコミュニティと言えます。

昔は日本中の町や村が「小さなユニット」で、その中で経済も学びも完結し、皆が幸せに暮らせていました。しかし、社会が経済的な大きさや合理性を求める時代になると、人々は損得勘定だけで動くようにな



り、その結果リスクにチャレンジしにくい空気が滞留しているのが、今の日本の現状だと思います。

しかし「小さなユニット」なら、互いの顔が見えるので話もしやすく、チャレンジもしやすい空気が生まれます。そして、変化に対しても誰かが気づいたらすぐに皆に伝え、迅速かつ柔軟に対応することが可能になると考えています。

---

### スティーブ・ジョブズの発想法が チャンスを切り拓くヒントに なります。

---

「小さなユニット」を光り輝かせるには、その中の一人ひとりが、元気に輝くことが大切です。そのヒントは、コンピュータで世界を大きく変えたスティーブ・ジョブズの思考法にあると思います。

その思考法とは「ファースト・プリンシプル・シンキング」で、既成概念やこれまでのやり方を鵜呑みにせず、「本当にそうなのか？」と問い直し、本質を見抜くことで、新たな発想や解決策を生み出す思考法のことです。

インターネットによる情報が氾濫していても、限られた情報源やSNSだけを信じて行動するのは危険です。同じニュースでも、発信する報道元や別の国の報道内容など、多面的な情報ソースを広く収集することで本質が見えてきます。そしてそれが、新しい発想やチャレンジを生む土壌となります。

一人ひとりが「ファースト・プリンシプル・シンキング」の思考で発想し行動し、それが「小さなユニット」

としてチーム一丸となれば、激しい変化に対応していくことも怖くはないと思います。

---

### 新しい人や新しい出来事との 出会いがコミュニケーション力や 行動力を育てると思います。

---

「小さなユニット」を光り輝かせるには、一人ひとりのコミュニケーション力や行動力を育てることも大切です。その狙いのひとつとして、展示会へはできるだけ多くの社員の参加を促しています。(特集参照)

展示会に参加すると、日常生活では会ったことのないほどパワーを持った人や、知らない人と会話のキャッチボールをする機会が多くあります。こうした出会いや刺激こそが重要で、それにより自ら新しい視点や行動力を生み出す活力になります。展示会に参加する目的は、直接的にビジネスに結びつくことより、継続して参加することで社員自ら変わっていくことが重要だと考えています。

私は、ヤスハラケミカルを「小さなユニット」で光る会社にしたいと考えています。そしてそれが地域社会と融合することで、さらに光り輝き、その姿に共感した近くの会社や地域が、同じように「小さなユニット」として共鳴しあい広がっていく社会になれば良いと思っています。

日本には、そのチカラがあると思います。私はそれを信じて、未来へ向けてのチャレンジを続けていきます。